

〔問 20〕 偏のつく漢字で、たとえば虫偏の“蟻”や“蜂”などはすべて同じに見えてしまらしく、“蜂”の字をみて「アリ」と言ったり、“蟻”をみて「ハチ」と言ったりしてしまいます。どうしたら良いでしょうか。

〔答〕 物には全て同じ部分と違う部分があります。たとえば、A 子と B 子では同じところをたくさんもっていますが、同時に A 子には A 子特有の、B 子にはない面をもっているわけでした、それによってわれわれは、識別することができるのです。同じところと違うところがあるので、同じところばかり見ていれば間違えてしまいます。ですから、子供には似たような二つの漢字を同時に見せて、同じところもあるが、違うところ——蟻の義と蜂の蜂のように異なるところがあるということを、はっきり示して教えてやるのが大切です。また記憶のはっきりしないうちは間違えることがありますので、その時はとがめず、ただ誤りをそのつど正してゆくようにしていれば認識が段々に深まります。子供には、物の違いに着目することの重要性を敢えてやると同時に、反復練習を積み重ねて下さい。

(昭和 57 年 6 月/川崎・第二ひかり幼稚園にて)